部署: 两1丁月1番地

日時:令和4年8月30日(火)

□環境 • ■方法 □部署内の方策 •

口職員の意識などに関して考えてみてください

フロア洗面所で口腔ケアをした時に、4 つの ブースから口腔ケア用品が持ち込まれ、乱雑 になっている。

利用者様にとっても、ごちゃごちゃしており 衛生的な環境下での口腔ケアに至っていない。

口腔ケアの度にブースを行き来するため、バタバタしており落ち着かない雰囲気になって しまう。

ということについて

口腔ケアの専用の棚を購入して、洗面所を広く 使えるようにする。 ブースとフロアの行き来 を少なくして、口腔ケアをしやすい環境にする。

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前



ユニットを空にしないため、フロアの洗面所で口腔ケアをするようになったが、利用者様の口腔ケア用品でいっぱいになってしまった。

改善後



各ブースのカラーボックスに保管している口腔ケア用品の使用状況を確認し、1 つをフロアの洗面所に移動し、口腔ケア用品保管できる場所を確保した。それによって洗面台いっぱいに並んでいた、歯ブラシ コップがカラーボックスに収納され整理しやすい環境が整った。

※夜間は扉を開放し、湿気がこもらないようにする。

※除湿剤を設置しカビの抑制を図る。

■4S(整理·整頓·清潔·清掃)

口危険箇所の改善

口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

以前は各ブースの洗面所で口腔ケアを行っていたが、転倒事故や利用者様の性状態の変化から、利用者様の見守り体制を作る為に、1 人は口腔ケア担当 もう 1 人は就寝及び排泄介助担当と分けて対応していた。環境面の改善を行い衛生的で安全に介助できるようにする必要性が有ると感じた。

改善時の工夫、改善後の状況

口腔ケア用品を収納する棚をフロアの洗面台の横に配置する。カラーボックスの一番下の収納箇所には歯ブラシ、コップ利用者様の口に入る物は置かないようにするルールにした。カラーボックスの扉を締め切ることにより、湿度が高くなりコップにカビの発生しやすくなるため、薄型の除湿剤の設置と、消毒後、夜間は扉を開放し、湿気がこもらないようにした。今後は、カビの発生状況を観察し、扉に変えて暖簾等など検討していく。

部署: 两1丁月2番地

日時:令和4年9月12日(月)

- ■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・
- 口職員の意識などに関して考えてみてくださ い
- 業務中の熱中症・脱水予防
- ・職員が快適に働ける環境

ということについて

- ・入浴介助時は特に汗をかく為、こまめに水分補給を行い、職員の体調を整えたい。
- ・浴室の室温が高くなり、熱中症・脱水になりやすい。
- 介助後も気持ちよく仕事がしたい。

という意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法 の改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- 入浴介助時は特に汗をかいて脱水状態になりやすいが、入浴者 数が多い日は水分補給が十分にできない時がある。
- ・浴室環境としても、室温計がない為蒸し暑い状態で行なっている状態である。
- ・入浴介助後に離床介助等が続く事もあり、不快な状態で勤務を 継続している事がある。

改善後



- 浴室にはサーキュレーターを設置し使用する。
- ・水分補給やタブレットを補給しながら脱水にならないように入 入浴介助後に入るようにした。
- ・残暑が残る季節にもなる為、継続して職員・利用者の水分補給の励行を行なった。

■4S (整理·整頓·清潔·清掃)

- 口危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・入浴介助が続くと、職員の水分補給が難しく脱水症状になりやすい。
- ・浴室が蒸し暑くなり、浴室内の湿度が一気に上がってしまっている。
- ・汗をかいた後も、不快なまま介助をせざるを得ない状況である。

- ・ご利用者ひとり入浴対応するごとに、水分補給し涼んでから再び、入浴介助にはいるように職員間で声がけを 心がけていた。
- ・入浴介助後にはすぐに離床介助に入るため、ひんやり シートや制汗スプレーなど使用し、さっぱりした状態で 業務に入ることが出来た。また夜勤明け等でもひんやり シート等を使用する事でさっぱりした状態で仕事をす ることで出来た。
- ・サーキュレーター浴室内に置いたサーキュレーターは 湿気で故障してしまう原因が出てしまった為、取り外し クーラーで浴室内の室温調整を行なうようにした。

部署: 两2丁月1番地

日時:令和4年9月9日(金)

- ■環境 口方法 ■部署内の方策 •
- ■職員の意識などに関して考えてみてください

食中毒予防

熱中症

脱水症防止

ということについて

・職員各自が勤務中に、適切に水分補給ができる対応が不充分である。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ご利用者へ入浴時の入浴時間の配慮(のぼせ防止)や入浴後の 水分提供の声掛けはするが、職員間では充分な水分提供の声掛 けができていない。
- 食前の手指消毒ができたりできなかったり、ムラがあった。

改善後

- ・比較的経験を積んだ職員が多くなり、ユニット会議にて声掛けを行ったところ、各職員が各自準備した飲み物を適宜に摂取するようになった。
- ・食事担当の職員の声掛けにより、食前のご利用者の手指消毒が 徐々に実践されるようになった。

□4S(整理·整頓·清潔·清掃)

- 口危険箇所の改善
- ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・気温が上がる時期の為、定期的にご 利用者へ水分提供しなければならな いが、臥床されているご利用者に対 し確実に水分提供できていない。

- ・職員間で確実に声掛けを行い、臥床 されているご利用者への水分提供の為 の声掛けと誘導をおこなった。
- ・一度拒否をされたご利用者へも、時間をずらしての声掛け・誘導を行うようになった。

部署: 两2丁月2番地

日時:令和4年8月27日(土)

□環境 • □方法 □部署内の方策 •

■職員の意識などに関して考えてみてください

職員の脱水予防、熱中症予防

ということについて

- ・気温の高い日が増えてきており入浴介助時に 職員の熱中症リスクが高い。
- ・基本的な感染対策として常時マスク着用を行っており熱中症のリスクが高い。
- ・一部利用者様の疾患対応に伴いガウンを着用 した状態で入浴介助を行っているためより脱水 になりやすい。

という意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ・ 職員にとっては入浴介助時が最も脱水状態になりやすいが水分 補給に関しては各職員任せになっている。
- ・職員が勤務中に飲む水分についても特に指定があるわけではないので、ユニットとして水分補給に適した飲み物を購入し適切な水分補給を行える状態を整える。

改善後



□4S(整理・整頓・清潔・清掃)

│□危険箇所の改善

■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・水分摂取のタイミングは各職員に任せられている。
- ・摂取する水分は各自に任せられているため水分補給に適さない飲み物の場合もある。(コーヒー、エナジードリンク等)

- ・水分摂取に適したスポーツドリンク と塩分補給の為に飴を購入。
- ・感染対策の観点からペットボトルタイプと個包装の物を選定。
- ・脱水リスクの高い入浴介助を担当する職員用に準備した事と、摂取タイミングとして入浴介助の開始前と合間に適時水分補給を行う事を周知。
- ・より摂取しやすくするために脱衣所 に一式をセットで設置し摂取を促す事 が出来ている。

部署:南2丁月1番地

日時:令和4年8月29日(月)

□環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・

■職員の意識などに関して考えてみてください

職員の熱中症予防、脱水予防

ということについて

- ・職員が持参する飲み物だけではなく、手軽に 水分補給しやすいように麦茶を用意する。
- ・入浴介助する職員が、熱中症・脱水にならないように、ユニットでスポーツドリンクを購入し、入浴介助中にペットボトル 1 本浴室に持っていき水分補給できるようにする。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- 飲み物は職員が持参するものだけだった。
- 夏期のみ麦茶を用意していた。
- ・職員も定期的に水分補給する為に、麦茶を用意していたが、飲むタイミングや量は個人に任せていた。

改善後

- ・麦茶の用意とスポーツドリンクを購入し、入浴介助中にペットボトル 1 本浴室に持っていき水分補給できるようにした。
- ・ユニット会議にて熱中症対策について、入浴中の水分補給だけ ではなく、細目に水分補給する事を共有した。

□4S(整理·整頓·清潔·清掃)

□危険箇所の改善

口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

飲み物は職員が持参するものだけだった。

夏期のみ麦茶を用意していた。

改善時の工夫、改善後の状況

・ユニットでスポーツドリンクを購入 し、入浴介助中にペットボトル 1 本浴 室に持っていき水分補給できるように した。持参した飲み物が無くなった時 には、麦茶を飲んでいたり、入浴担当 者はスポーツドリンクを飲んでおり、 職員各自が熱中症・脱水に気を付けて いた。

〈衛生委員会用 報告シート〉

部署: 住居支援部住居支援課住居支援係 令和 4 年度 夏期安全推進活動

部署:南2丁月2番地

日時:令和4年8月27日(土)

■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・

口職員の意識などに関して考えてみてください

使い易い薬棚の環境作り

ということについて

- ・看護職員が準備している曜日ごとの薬の収納袋が乱雑になってしまっている。
- ・頓服薬を管理しているファイルが乱雑になってしまうことで取りにくい。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前



改善後



- ■4S (整理·整頓·清潔·清掃)
- □危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・薬の収納袋が開封前と開封後含めて バラバラに収納されてしまっている。
- ・頓服薬と収納袋が混ざってしまい、 取りにくい。

- ・仕切りを使用して頓服薬、薬の収納袋の収納場所を分ける。
- ・薬の収納袋を開封前は左側、開封後 は右側に寄せて区別しやすいようにす る。

部署:東2丁目1番地

日時:令和4年8月19日(金)

- ■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・
- 口職員の意識などに関して考えてみてください
- ・ 夏の暑さ対策、エアコンの不調時等の対策。

ということについて

• 夏の暑さがある中でも、職員自身も熱中症対 策の環境を整えていく。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ・入浴時や入浴後など、水分補給をしっかりと行なっていき、 熱中症対策に努める。エアコンの不調時なども、扇風機の使用や窓を開けて換気を行なっていくなど、適切な環境を整えていく。
- ・ 職員同士でも声を掛け合い、お互いに熱中症に注意していく 意識を高める。

改善後



- ■4S(整理·整頓·清潔·清掃)
- 口危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・暑さのある日にエアコンの不調があった際、扇風機等を使用していくが 利用者を優先し、職員への配慮が不 足してしまっている。

改善時の工夫、改善後の状況

- 大きめの40センチの羽の扇風機と 冷風機を購入した。
 - き適切な環境が提供できている。 職員からもしっかり空気の循環ができていると好評である為、今後追加で購入する予定としている。

扇風機はフロア内の空気の循環もで

ユニット内でも空気の流れや循環という所にも着目していけるようになり効果が得られたのではないかと感じた。

部署:東2丁目2番地

日時:令和4年8月20日(木)

- ■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・
- 口職員の意識などに関して考えてみてください
- ・ 職員の働きやすい環境

ということについて

- ファイル等を保管しているが、取り出し にくく、しまいにくい。
- ファイルについて、何がどこにあるのか分かりにくい。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- 棚の中にファイルをしまっているが、ファイルが倒れてきてしまい、取り出しにくく、しまいにくい。
- いろいろなファイルが、いろいろなところにあり、分かりにくい。

改善後

- ファイルボックスを棚の中に入れ、ファイルが倒れないように した。
- ・過去のファイルや使用していないファイル等は処分し、現在使用しているものをまとめた。

■4S(整理·整頓·清潔·清掃)

口危険箇所の改善

口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ファイル等を取り出したり、しまったりする際、毎回、ストレスになっていた。
- 何がどこにあるのか分かりにくいことで、混乱したり、物事が停滞したりしていた。

- 何がどこにあるのか分かるようになった。
- 取り出しやすく、しまいやすくなった為、業務の時間短縮になった。
- すっきりと整理した為、見栄えが良くなった。

部署:北1丁月1番地

日時:令和4年8月25日(木)

□環境 • ■方法 □部署内の方策 •

口職員の意識などに関して考えてみてください

・職員・利用者の熱中症対策として

ということについて

- ・暑くなってきたので、熱中症対策を考え 職員間で必要な物品を話し合った。
- 入浴後の水分補給や暑さに応じて、水分補給 時の時間帯で、お茶やコーヒー以外にもスポ ーツドリンク等を提供していく。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

・水分補給は、お茶やコーヒーを飲んでいる事が多い為、吸収の良いスポーツドリンクの粉をユニット費で購入し水分補給をして熱中症予防に努める。また、業務中はマスク着用の為、マスクをする事で熱中症になる事があるため、職員同士で声掛けをして水分補給をする。

改善後



・ユニット費にて、水分補給のスポーツドリンクの粉を購入し飲用した。

■4S (整理 • 整頓 • 清潔 • 清掃)

口危険箇所の改善

口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・現在、水分補給しながら熱中症対策 をしているが、スポーツドリンク等 の購入まで至っていないので、早急 に購入し、水分補給の際の環境を整 える。

- 水分補給に関しては、マスク着用していると水分補給を忘れがちになるため職員同士で声をかけながら水分補給に努めた。
- ・スポーツドリンクの粉を購入してからは、積極的に水分補給する事ができ、職員間でも好評なので継続していきたいと思います。

〈衛生委員会用 報告シート〉

部署:住居・相談支援部住居・相談支援課住居支援係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:北2丁目1番地

日時:令和4年6月1日(水)

- ■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・
- 口職員の意識などに関して考えてみてください
- ・職員が熱中症予防対策をして元気に働きたい

ということについて

・これから夏場にて職員も熱中症、脱水予防に 努めていきたい

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ① 職員は、休憩時には水分が取れているが、他では取れていない。 職員がこまめに分補給できていない。
- ② ケアを行うと直ぐに汗をかいて不快な状態が続いている。

改善後



・入浴介助後等に、ひんやり爽快快適な肌用の制汗剤とボディシートを購入した。

- ■4S(整理·整頓·清潔·清掃)
- 口危険箇所の改善
- ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・入居者への水分補給は出来ているが 職員は水分補給が不足している。
- ケアを行うと、直ぐに汗をかき、 不快な状態が続いている。

- ・食事以外にも、各自こまめに水分補給する事ができた。
- ・介助後、汗でべたついた身体をボディシートや、スプレーなど使用して サラサラで冷感を保てる事ができた。

部署:地域支援部ショートステイ担当課ショートスティ係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:東1丁月1番地

日時:令和3年6月6日(月)

■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・□職員の意識などに関して考えてみてください

環境整備、熱中症予防

ということについて

居室の日当たりが良すぎるために、居室で 休んでいるご利用者の顔に日差しがあた ったり、居室内の温度が高くなったりして いる。

冷房を付けて室温を下げようとすると、ご 利用者は寒さを感じてしまうことが多い。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業 方法の改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

よしずを立てかけているが、

風により倒れてしまうこともあり十分に日差しが防げていない状況。 ご利用者から日差しの暑さの訴えがあった。

改善後





不要時、台風時などは外して保管可能。

- ■4S(整理·整頓·清潔·清掃)
- 口危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・東1-1ユニットの③ブース、⑤ブースの居室は日当たりが良く、冷房をつけていても室温が高くなってしまう。
- ・よしずが倒れてしまったり、斜めに なってしまったりする時もあり常時 十分に日差しを防げていない。

改善時の工夫、改善後の状況

サンシェードを設置した。

日差しの予防ができ、小窓を開ける空間もあり換気することも可能。

また緊急時は窓からの出入りもできる。

・よしずを使用していた際には居室内 が暗くなってしまっていたが、サンシェードをとりつけてからは適度な明 るさがあるため、ご利用者からも快適 であるとお話があった。

〈衛牛委員会用 報告シート〉

部署:地域支援部ショートステイ課ショートスティ係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:東1丁目2番地

日時:令和4年6月9日(木)

- ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・
- 口職員の意識などに関して考えてみてください

パソコン後ろの棚にファイル等が混在 し整頓されていない。また、清潔感が 不足している

ということについて

ユニットの中心部であり、利用者 様も目に入る場所が乱雑である 為、皆が気持ちよく使用できる環 境にしたい

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前



改善後



■4S (整理·整頓·清潔·清掃)

- 口危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

不要なファイルや過去のファイルが混在しており、必要なものが見つけにくい状況であり、清潔感のある環境とは言えない状況になっている。

改善時の工夫、改善後の状況

棚の不要なファイルや過去のファイルを片付け整理整頓を行った。今後は蓋付きの棚を購入し中が見えないようにしてさらに清潔感のある環境を作っていく。

部署:地域支援部デイサービス担当課デイサービス係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:国見ケ斤3丁目デイサービス

日時:令和4年6月9日(木)

- ■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・
- 口職員の意識などに関して考えてみてください

超過勤務を減らすための業務改善

ということについて

退勤時間は 17 時 30 分だが、送迎対応後のフロア清掃とミーティングを終えると 30 分程度の超過勤務となる。業務改善をし定時で退勤が出来るようにしたい

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等



改善後

07月04日 (月)	Ø	® ₽ ⁄		07:56		18:22
07月05日 (火)	♂	® ₩		07:57		18:06
07月06日 (水)	ß	◎ ●		08:01		17:46
07月07日 (木)	Ø	® ₽		07:56		17:45
07月08日 (金)	Ø	® ₩	進行中 有休1h	08:00		16:44
07月09日 (土)	♂	* 😂				
07月10日 (日)	B	* 🔐				
07月11日 (月)	Ø	◎ ●		07:59		17:43
07月12日 (火)		* 😭				
07月13日 (水)	Ø	® ₩		08:00		17:39

□4S(整理·整頓·清潔·清掃)

- □危険箇所の改善
- ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

◇職員配置 4 名(内一名の勤務時間が退勤 16:30分)

◇送迎車 2 台(内一台は添乗員必要な車 両のため送迎業務に3 名が必要)

◇送迎からの帰所時間は 17 時~17 時20 分。その後フロア清掃とミーティングを実施していた。

- ◆職員配置 4 名(勤務体系変更なし。)
- ◆送迎車 2 台(内一台を運転手一名対応の車種に変更した。)
- ◆送迎後の帰所時間に変更はないが、16時30分以降3名体制の日は事業所への待機職員を作る事で、フロア清掃や翌日の準備を行うようにした。) ※実質16時30分以降は3名となり内部研修への参加や17時30分までの勤務職員が公休の日は2名で送迎対応後にフロア清掃等の対応となる為に大幅な改善とは至っていない。今後も改善に向けた取り組みを継続していきたい。

部署:地域支援部 デイサービス担当課 デイサービス係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:デイサービス

日時:令和4年6月8日(水)

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・

口職員の意識などに関して考えてみてください

熱中症・脱水症対策

ということについて

感染症対策の為、業務中はサージカルマスク、フェースシールドを着用しており、熱中症・脱水症の危険性が高くなる。

体調不良のリスクを軽減するため、職員の休憩室の環境を整えて快適に過ごしたい。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前



改善後



- ■4S (整理 整頓 清潔 清掃)
- 口危険箇所の改善
- ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・フロア内の各ポイントにデジタル温 湿度計を設置し、温湿度管理を実施し ている。
- ・入浴介助時においても、サージカルマスク・フェースシールドを着用している為、平時よりも熱中症・脱水症の危険性が高まっている。
- ・休憩室のソファカバーが経年劣化に より破損している。

- ・職員用にスポーツドリンクと塩分補給タブレットを購入した。これにより、水分補給と塩分補給が十分にできるようになった。
- ・体調不良のリスク軽減のため、始業 ミーティング時に水分摂取と休憩時間 の確保を行えるようアナウンスを実施 した。
- ・職員同士で、水分補給を確認し合い、 お互いに水分補給しやすい環境になっ た。熱中症による体調不良になった職 員はいなかった。
- ・休憩室のソファカバー購入は今年度中に検討中。

部署 地域支援部グループホーム担当課グループホーム係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:西乃家

日時:令和4年6月8日(水)

□環境 ■方法 □部署内の方策 ・

- ■職員の意識などに関して考えてみてください
- ・休憩を取りやすいと感じている職員、入りづらいと感じている職員がいる。ユニット全体で再度休憩取得への意識を定着し、業務を行う環境を整えたい。
- ・休憩時間に気持ちをきりかえて、業務をより 円滑に行えるようにしていきたい。

ということについて

①休憩時間を勤務ごとに再度明確にすることで、休憩を取りやすい環境、声をかけ合える環境を作る。

(※早番 11:30~・日勤 12:30~・遅番 15:30~)

②勤務ごとの業務内容や分担、職員同士の連携などの見直しを行う。

という意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ・以前ユニットで話し合いを行い休憩時間を定めていたが、時間 の経過とともに曖昧になっている。
- ・現在は食事中~食後にかけて、という認識のみで時間が定まっていない中で、勤務している職員の人数によらず休憩を互いに声掛けをしてしっかりと取れる日や、短時間のみとなってしまう日など定まっていない状況。

改善後

・実施して2か月ほどでしっかりと定着しており職員間で声掛け、 確認をしながらしっかりとした休憩時間が取れるようになってお り、リフレッシュした状態で午後からの仕事に臨むことが出来て いるようだった。

◎定着している休憩時間

早番:12時~13時日勤:13時~14時

遅番:13時半~14時(食事)、15時~15時半(休憩)

※遅番者は食事時間と分ける。

□4S(整理・整頓・清潔・清掃)

口危険箇所の改善

■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・休憩時間を定めていたが、曖昧になっておりタイミングも分かりにくい。
- ・決まっていないため声を掛け合える 状況と、そのまま業務を続けている状 況が入り混じっている。

改善時の工夫、改善後の状況

・実施後も休憩時間についての意見を確認しながら実施できている。 定着して来てはいるが休憩の場所が定まっていない事もあり、今後はそちら

の改善も出来ればと考えている。

部署:地域支援部グループホーム担当課グループホーム係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:中乃家

日時:令和4年6月7日(火)

- □環境 ■方法 □部署内の方策 •
- ■職員の意識などに関して考えてみてください
- ①②職員が脱水症や熱中症にならない為の予防 方法について。

ということについて

①昨年に続き職員が入浴介助後や利用者と散歩などをした後に水分補給をする。また、時間を決めて、声掛けして水分をとるようにする。(1 〇時・15時・毎食事)

デイルームへ WBGT 指数表と「水分補給をしましょう」と掲示する。(入浴後利用者の髪を乾かすところ)

②入浴介助中や作業する際に、ネッククーラーを巻いて行ないたいと意見が出たので、継続する。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ①職員は、業務に集中して水分補給を忘れて作業していることがある。また、時間を決めて、声がけして水分を摂るようにしているが、作業が終わってからまとめて摂ることが多く、小まめな水分補給を忘れてしまっている。
- ②脱衣所や浴室が温度・湿度が上がりやすいので、職員が介助中に暑さを感じる中で対応を行なっている状況。
- ※扇風機などの風は入居者が不快と感じることが多いため、それ 以外の対策が必要と感じている。

改善後



l∍ネッククーラー



■8/4 ポスター掲示

☆入浴介助中や作業をする際に、ネッククーラーを首に巻いて行なっています。使用することで作業をしやすいとのことで、今年度も使用しています。

☆WBGT 指数表は、室温チェック表に貼り、指数表をもとにエアコン等の調整を行なっています。

☆デイルームへ水分補給を促すポスターを掲示し、職員同士声を 掛け合うきっかけを作り、お互いに声をかけ合いながら、水分補 給をしていました。 □4S(整理·整頓·清潔·清掃)

- 口危険箇所の改善
- ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ①利用者には、水分補給を促している が、自分の水分補給を忘れて、作業を していることが多い。
- ②脱衣所や浴室が温度・湿度が上がり やすいので、職員が介助中に暑さを感 じて対応を行なっている。

改善時の工夫、改善後の状況

7/12

- ① 職員同士声を掛け合って、脱水にならないように継続中です。ポスターを今作成中です。
- ② ネッククーラーを首に巻いての作業は、 作業がしやすいので継続しています。

8/4

- ① デイルームへ作成した水分補給についてのポスターを掲示する。
 - 水分補給も職員同士声を掛け合って、実施できていました。

部署:地域支援部グループホーム担当課グループホーム係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:東乃家

日時:令和4年 6月8日(水)

- ■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・
- ■職員の意識などに関して考えてみてください
- ① 清掃用具をロッカーへしまっているが、ロッカー内が整頓されておらず、物品の出し入れがしづらくなっている。
- ② 台所の収納に入っている物品が整頓されて おらず、使いづらい。
- ③ 気温、湿度ともに高くなり、熱中症の危険性が高くなってきている。

ということについて

- ① 清掃用具の整理と古くなっているものに関しては買い替えし、清潔保持を行う。
- ② 収納の中の整理と使用していない物品や劣化しているものに関しては事故防止のためにも破棄や買い直しを考えてはどうか。
- ③ 熱中症に対する職員への声がけ、冷風機の設置等を行い体調管理を行う。
- ①②という意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前







- ① ロッカー内部の状況。物品が乱雑に配置されている。
- ② 台所の収納の状況。整頓されずに配置されている。
- ③ 熱中症対策として浴室に冷風機の設置、定期的な水分補給の声がけを行う。

改善後







- (1)ロッカー内部の不要な物品の破棄等、整理整頓を行った。
- ②台所の収納の整理整頓を行った。
- ③熱中症対策として、浴室に冷風機の配置、定期的な水分補給の 声がけを行った。

- ■4S(整理·整頓·清潔·清掃)
- 口危険箇所の改善
- ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ①②清掃用具、鍋等の物品が乱雑に配置されていて、使いづらい状況になっている。
- ③気温、湿度の上昇で熱中症に対する 危険性が高くなってきている。

- ①②整理整頓行い使いやすく、清掃しやすくなった。以前報告した状態を維持、継続出来ている。今後も常時使用するもの、使用しない物を分け、使用しない物は破棄や別の保管場所へ移動するようにしていきたい。
- ③9月に入り涼しくなってきているが、浴室は暑く湿度も高い為、入浴介助者は熱中症になる可能性もある為、水分補給の声がけを現在も継続している。夏場より意識が低下している為、より一層注意していきたい。

部署:地域支援部グループホーム担当課北乃家係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:国見ケ丘3丁目グループホーム

日時: 令和 4年 8月 12日(金)

□環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・

口職員の意識などに関して考えてみてください

- 入浴介助中、熱中症対策の環境整備
- 夏場の温度管理、水分補給の必要性

ということについて

- ・サーキュレーターを脱衣室壁に取り付け、体 感温度を下げるようにする。
- ・入浴介助時、首用保冷剤を巻いて体温を下げるようにする。
- ・入浴介助前や合間に職員も水分補給できるように職員同士声掛けをする。
- ・製氷皿を購入していつでも氷を使えるようにする。
- ・グリーンカーテン (ゴーヤ) を作って日除け にする、見た目の涼しさも欲しい。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前





改善後







- □4S (整理·整頓·清潔·清掃)
- 口危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・入浴介助前や合間に、職員水分補給が十分出来ていない。
- ・冷蔵庫の製氷機が作動しないので、 現在製氷皿(3個)で氷を作っている。
- ・脱衣室の扇風機の風は下からの風の 為、熱がこもりやすい。
- ・フロアの窓からの日差しが強いため 涼しく見える工夫が必要。

- サーキュレーターを壁面につけるため、棚をつけて対応した。
- ・小さい保冷剤を自身のタオルに巻い て使用してもらうようにした。
- ・入浴担当以外の人が声掛けしてくれるため、遠慮なく水分補給できる。
- ・製氷皿4個補充し、冷たい飲みものの提供の幅が広がった。
- ゴーヤで初めてのグリーカーテンを 作製中。

部署:住居•相談支援部住居•相談支援課施設相談支援係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:施設相談支援係

日時:令和4年6月10日(金)

- ■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・
- 口職員の意識などに関して考えてみてください
- 熱中症予防、体調の管理

ということについて

・夏季に差し掛かっており、気温が上昇傾向にある。事務所内の気温については、側面が大きな窓となっており、外気温にかなり左右される状況である。また、事務机の場所によって、エアコンの冷風に直接あたってしまう箇所もあり、体調の管理が難しい。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ・感染症の予防のため、ビニールカーテンも使用しており、また、 事務所の側面が大きく窓になっているため、室内の温度管理が難 しい。
- ・前年度の秋以降に入職した職員も数名おり、エアコンの調整の 方法が分からない職員がいる。
- ・事務机の場所によって、エアコンの冷風が直接当たる箇所があ り、体感温度も含めて、体調に影響する可能性がある。

改善後

- ・新規で入職された方等へ、エアコンの操作方法を伝え、こまめ な室内温度の調整を行うことが出来る様にした。
- ・人によって体感も異なり、また、エアコンの排気口に近い場所 にいる職員もいるため、各々、声がけ等を行い、寒さ、暑さの確 認を行うようにした。

□4S(整理・整頓・清潔・清掃)

- 口危険箇所の改善
- ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・夏季に差し掛かっており、気温の上 昇傾向にある。事務所内の気温につい ては、側面が大きな窓となっており、 外気温にかなり左右される状況であ る。また、事務机の場所によって、エ アコンの冷風に直接あたってしまう箇 所もあり、体調の管理が難しい。

改善時の工夫、改善後の状況

・お互いに声がけしあい、室内の温度 調整をこまめに行うことで、適切な状 況下で業務を行うことが出来た。

部署:住居,相談支援部住居,相談支援課居宅介護支援係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:居宅介護支援

日時:令和4年6月11日(土)

□環境 ・ □方法 ・ □部署内の方策 ・

■職員の意識などに関して考えてみてください

「居宅ケアマネは訪問機会も多く、感染対策と して KN95 マスク装着で仕事を行なう機会も 多くなることから、脱水や体調不良を予防する 意識を高く保つことが必要」

ということについて

- ・訪問中の水分補給は難しいため、水分補給 のタイミングが大切になる。
- ・業務量が多くなっているが、自分に裁量があるうちは良い。今後、精神的なストレスになってしまわないようにフォローし合う雰囲気づくりをする必要がある。

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ・冷蔵庫等をあまり活用せず、自動販売機等で購入して水分補給を 行なう事も多く、忙しいと水分補給するタイミングを失うこともあった。
- ・業務量は多くなっているが、全員がベテラン職員で自分に裁量が ある間は精神的なストレスになりにく状況だったが、自分に裁量が なくなった段階で体調不良を起こす場面も見られた。

改善後

- ・積極的に冷蔵庫を活用することで、常に手を伸ばせば水分補給ができるような環境を作り、更に各自がマイボトルを活用し、訪問前後の車での移動時にも水分補給できるようにした。
- ・新人職員もおり、ベテラン職員も業務超過のために自分の裁量だけで業務量を調整することは難しい状況のため、精神的なストレスになってしまわないように、SOS サインを出しやすい雰囲気を作り、必要があれば業務量そのものを見直す検討も行なっていく事を事業所内で周知。

- ■4S(整理・整頓・清潔・清掃)
- □危険箇所の改善 ■作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・水分補給のタイミングも、業務量の 裁量も、全員がベテラン職員のため に、お互いに確認したりフォローし合 ったりすることが希薄になっていた。

- ・居宅内の冷蔵庫を活用し、自由に飲み物等を入れておける環境にした。
- ・冷蔵庫に大きなペットボトル等で買って入れておくことでマイボトルを 活用することが増えた。
- ・業務量は各自の裁量でコントロールできる量になっているか声がけし、精神的にも身体的にも無理がないかどうか、威圧的な態度をしないように注意しながら1対1の場面で確認するようにしている。

〈衛牛委員会用 報告シート〉

部署:住居•相談支援部住居•相談支援課栄養口腔支援係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:栄養口腔支援 管理栄養士

日時:令和4年7月11日(月)

■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・

口職員の意識などに関して考えてみてください

災害対策が不十分である

ということについて

地震発生時にラックが倒れないよう、安全性を 確保したほうがいい

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

海前前





改善後





□4S(整理·整頓·清潔·清掃)

- ■危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・ラックに多く物が乗っているが、転 倒防止用の突っ張り棒が設置されて おらず、大きな地震発生時に転落の 危険性がある
- ・突っ張り棒が斜めになっているものがあり、役目を果たしていない

改善時の工夫、改善後の状況

・突っ張り棒がない場所には設置し、 斜めになっているものは修正している。

突っ張り棒を設置したことにより、 ラックに安定感が出ており、地震発 生時の転落リスクが低くなったと感 じる。

〈衛生委員会用 報告シート〉

部署:住居•相談支援部住居•相談支援課栄養•口腔支援係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:栄養口腔支援(歯科衛牛士)

日時:令和4年6月9日(木)

■環境 ・ 口方法 口部署内の方策 ・

口職員の意識などに関して考えてみてください

デスク下のケア用品の保管

ということについて

整理整頓をして業務の効率を改善する

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前





■4S (整理·整頓·清潔·清掃)

口危険箇所の改善

口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

- ・デスク下に乱雑にケア用品が置かれている。
- ・必要な物品を見つけるのに時間がかかる。

- ・整理整頓することで必要な物品をすぐに見つける事が出来る。
- 業務をスムーズに効率よく行うことができた。

部署:地域支援部地域連携推進グループ 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:地域連携推進グループ

日時:令和 4年 9月 24日(土)

□環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・

口職員の意識などに関して考えてみてください

・地域連携推進グループ内、共有パソコンの配線の整理と定期的な清掃。

ということについて

コードに足が引っ掛かり電源が落ちてしまった。 改善してほしい。

という意見を採用して取り組んだ。

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前



改善後



☑4S(整理·整頓·清潔·清掃)

☑危険箇所の改善

口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

地域連携推進グループに共有パソコンが設置され4年がたち、配線が垂れさがり、コードが見えている状況になっているため、職員が躓くことがある。

改善時の工夫、改善後の状況

床のコードは配線カバーを装着して、 躓かないように対応した。

パソコン周りの配線については、配線 コードカバーでできるかぎりまとめ て、すっきりと見えるように対応し た。

部署:総務部総務課総務係 令和4年度 夏期安全推進活動

部署:総務部総務課

日時:令和4年6月10日(金)

☑環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・

口職員の意識などに関して考えてみてくださ い

- ①金庫室の整理整頓
- ②熱中症対策

ということについて

① プリンターの入替に伴い、適合するトナー及びドラムカートリッジの種類が増えた。

そのため、従来の保管場所では保管しきれず「とりあえず」の場所に置いてある。

② 前年度に引き続き、空気循環や水分摂取 に留意する

という意見を採用して取り組んだ

※4S(整理・整頓・清潔・清掃)・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください 課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

① 「整然」とは言い難く、取り出しが効率的ではない。在庫に関しても、一か所にまとまっていないので、一目で把握しずらい状況。

②エアコンの吹き出し口の場所により、室温に2~3度の差がみられる。



☑4S (整理·整頓·清潔·清掃)

- 口危険箇所の改善
- 口作業方法の改善

に関して

改善前の状況

日々の業務の中で、優先順位が低くなっているため、整理整頓が疎かになっているのが現状である。適切な在庫管理や取り出しが非効率な状況。

改善時の工夫、改善後の状況

- ・まだ改善には至っていないが、動線の効率と整理整頓を念頭に、早急に取り組みたい。
- ・アクリル板設置により、空気が滞留しが ちであるが、卓上の小型扇風機を利用する ことで改善されている。

改善後

- ① 取り出しと在庫管理の効率化には、現在ある書類やその他のもの(予備のコピー用紙、マスク等々)の保管場所の検討が必要となり、まだ結論には至っていない。ラック等を利用する案も出ているので、サイズが合致する商品があれば、設置の検討も視野に入れたい。
- ② 各自卓上扇風機を利用し、空気を循環させている。WBGT 表を確認しながら、最適な温湿度を調節する